

# 図書館かがわ

香川県立図書館報 第138号



Library Kagawa

2023年 1月

ISSN 1344-5464



カウンターで  
本の貸出しをしてみよう

移動式書架を動かしてみよう

書庫で本を探してみよう

## 「おやこde図書館探検」を実施しました。

令和4年11月3日（木）、小学生とその保護者を対象に開催しました。

今年度は、より多くの家族に参加していただけるよう、午前と午後の2回開催とし、合わせて13組の家族に参加していただきました。

普段入ることができない書庫では、ハンドル式の移動書架を動かしてみたり、職員から指定された本を家族で協力して探してもらいました。カウンターでは、実際にバーコードリーダーを使って貸出体験を行いました。

参加者のみなさんからは「今回3回目の参加ですが、書庫の見学は何回来ても新鮮な気持ちになれる。」「古い本や雑誌を捨てずに保管していることに驚いた。」「カウンター体験は、とても楽しみにしていたので体験できてよかった。」などの感想をいただきました。

このイベントを通じて、図書館をもっと好きになってもらい、図書館を利用したことのない友達にも薦めてもらえるきっかけになれば嬉しいです。

## レファレンス日誌から 第17回

## ～有名な山じゃないけれど巻～



「校区にある〇〇山の高さを調べている」「老人会のハイキングで登った△△山の高さを知りたい」

県内にある山の高さについての質問は、幅広い年代の方からよくされる質問です。大抵、「有名な山じゃないけど、分かるかなあ？」と遠慮気味に聞かれます。

司書になって迎えた最初の夏休み、宿題で校区の自然について調べていた小学生からこの質問をされ、有名ではない山の名前を聞いて、私はどんな本を見ればよいか困ってしまいました。検索に手間取っていると、隣でやりとりを聞いていた先輩司書が郷土資料の本棚からさっと1冊の本を手に取り、カウンターに戻ってきました。

『ふるさとの山と三角点』というその本には、県内のいろいろな山の高さや場所、アクセス、登山コースなどの情報がつまっており、探している山の情報もありました。

いっしょに来ていた保護者の方が、本を覗き込みながら「すごい、こんな本があるんですね！」とおっしゃった時、私も同じような気持ちになったのを覚えています。県内の山に限定して1冊の本がつくられていて、しかも地域の小さな山まで取り上げているなんてと驚きました。

郷土資料には、このような珍しい情報や細やかな内容を集めたちょっとニッチな本もあります。あなたのマニアックな調べものにこたえたい郷土資料が、あなたに読まれるのを待っているかもしれませんね。

参考文献：

『ふるさとの山と三角点』 多田弘美／著 高松市図書館刊 2005（請求記号：K2910 T20）

## ◆◆「第2回健やか生活応援講座」◆◆

令和4年11月26日(土)、「発酵のチカラで健やかに～発酵食品で豊かな人生を～」をテーマに、発酵料理セラピーつむぎ代表の藤田直子さんを講師にお迎えし、開催しました。

気温が低くなり、乾燥しやすい季節になると、風邪やインフルエンザなどの感染予防のために、食事に注意することも大切で、腸内環境を整えることは感染予防につながることや、腸内環境を改善し、免疫力向上の効果が期待できる発酵食品を普段の食事に取り入れる工夫などを学びました。

参加者からは、作り方を教わった米麹甘酒を、さっそく作って食べてみたいという感想をいただきました。



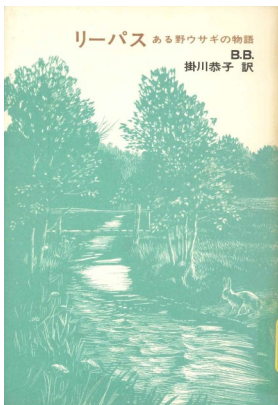
この本オススメです！

## 卯 うさぎ ～今年の干支の本～

今年の干支は、卯です。ウサギは日本最古の歴史書『古事記』の「因幡の白兔」や、平安時代に描かれた『鳥獣戯画』にも登場し、人間とは古くから関わりがある動物です。

現在では、ペットとして可愛がっている人も多く、ウサギをモチーフにした絵本やマスコットキャラクターとしても人気です。

今回は干支にちなんで、そんな人気者のウサギの本をご紹介します。



『リーパス ある野ウサギの物語』 B. B. / 著, 掛川恭子 / 訳  
(福音館書店) 1978.5 (請求記号:930/B37/2)

野ウサギのリーパスが、数々の危険をくぐりぬげ、たくましい雄ウサギに成長するまでを描いた物語です。

地味な装丁や挿絵ですが、スリリングなストーリー展開や、草花の香りが匂い立ってくるような美しい自然描写に、読み始めたら心を奪われることでしょう。読書感想文全国コンクールの課題図書にもなったので、中学生の頃、読んだことがあるという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



『うさぎのほんね』 森山 標子 / 絵, 中山 ますみ / 監修  
(東京書店) 2022.5 (請求記号:6458/M1/2)

「ウサギは喜怒哀楽がわかりづらいな」と感じている“うさ飼い初心者”におすすめで、うさぎとの暮らしを幸せにするヒントを分かりやすく教えてくれる本です。

問題行動と思える行動でも、理由と対処方法を知れば、可愛さ百倍かも知れません。



『ウサギ学 隠れることと逃げることの生物学』  
山田 文雄 / 著 (東京大学出版会) 2017.2 (請求記号:4894/Y3)

野生のウサギ類の研究に40年近く取り組んできた著者が、うさぎと人間との関わりから、生物学的な特徴、生息の現状、外来種のウサギが起こす問題などについてまとめた本です。

とにかく

兔に角、ウサギ学を究めたい方にお勧めです。

## ● 図書館コーナー紹介 ～郷土資料コーナー～ ●

「郷土資料コーナー」には、香川県の歴史や人物、行政、教育、民俗、自然、産業、文化、芸術、スポーツ、方言など香川県に関するあらゆる資料があります。網羅的に収集された資料は、香川県についての研究や学習に活用できます。

また、さまざまな分野で活躍する香川県出身者の著作物を集めた「郷土人文庫」もあります。資料は著者ごとに並んでいます。

次のコレクションもあります。

○空海資料：香川県が生んだ偉大な思想家・宗教家である空海の著作や伝記・研究資料について、総論、伝記、著作などのテーマを中心に集めています。



○梶尾文庫：故梶尾祥瑞氏(元高野山大学教授、ボストン美術館図書館長)の蔵書2,613冊を寄贈されたものです。父故祥雲氏(元高野山大学長)の蔵書を核にして、息子祥瑞氏が発展させた真言密教をはじめとする幅広い宗教学とマンダラ等の仏教芸術学がコレクションの中心となっています。

○大平文庫：大平正芳記念館(観音寺市)に所蔵していた、元内閣総理大臣、大平正芳氏の蔵書や氏の著作、研究書、大平正芳記念賞受賞作品など8,593冊を平成27年に公益財団法人大平正芳記念財団から寄贈されたものです。読書家で文筆家として知られた大平氏の蔵書は、政治・経済だけでなく、哲学・歴史・文学など多岐にわたっています。



他にも、「四国新聞クリッピング」や県内で発行される市町の広報誌、各種団体の定期刊行物、文芸誌などがあります。

香川県のあらゆる情報を集めた郷土資料コーナーで、今まで知らなかった「香川」の魅力を見つけてみませんか。



編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19(香川インテリジェントパーク内)

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>